

サーマルマネキンを用いた室内快適性に関する公開研究集会 プログラム

主催：東京工芸大学 風工学研究センター
早稲田大学 田辺研究室
東海大学 中野研究室

【日時】2020年2月26日 13:00～16:50

【会場】東京工芸大学 中野キャンパス 1号館B1階1B01教室（予定）

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 <https://www.t-kougei.ac.jp/access/#nakano>

【開催趣旨】

サーマルマネキンは空間や服装などの環境要素が人の快適性に与える影響について、その複雑な関係性を実験的に明らかにするために用いられてきた。2015年には建築学会の学会基準として「サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法基準」が作成され、国内でのサーマルマネキンを用いた研究は更に活発化している。東京工芸大学風工学研究センターにおいても、室内気流が人体の快適性に与える影響に関して、アクティブ制御マルチファン人工気候室や発汗サーマルマネキンを用いた研究を精力的に行っており、タスク吹出気流やゆらぎ風の快適性、着衣透湿指数の測定など特徴のある共同研究テーマに取り組んできた。本研究集会ではこれらの実験装置を活用した早稲田大学・東海大学との2019年度の共同研究成果を紹介する。また、基調講演として早稲田大学 田辺教授による快適性の最新動向、九州大学 萩島教授による熱帯圏での人体の温熱適応についてご講演頂く予定であり、大変貴重な知見が得られると考えている。本研究集会がサーマルマネキンを活用する研究者同士の交流の機会となれば幸いである。

【プログラム】

趣旨説明 山本佳嗣（東京工芸大学）

13:00～13:05（5分）

＜基調講演＞

司会：山本佳嗣（再掲）

基調講演① 「温熱快適性評価研究の最新動向」

田辺新一先生（早稲田大学）

13:05～14:00（45分+質疑10分）

基調講演② 「熱帯圏での Sustainable で Adaptive な居住環境実現のためのフィールド研究」

萩島 理先生（九州大学）

14:00～14:55（45分+質疑10分）

休憩

14:55～15:05（10分）

＜サーマルマネキンを用いた快適性研究の発表＞

司会：山本佳嗣（前掲）

発表① 「気流を活用した空調方式における気流の影響範囲と快適性に関する研究」

中野淳太先生（東海大学）／山本佳嗣（再掲）

15:05～15:25（20分）

- 発表② 「発汗サーマルマネキンについて」
水谷国男先生（東京工芸大学） 15：25～15：45（20分）
- 発表③ 「発汗サーマルマネキンを用いた人体部位別着衣透湿指数の測定」
田辺研究室（早稲田大学） 15：45～16：05（20分）
- 発表④ 「発汗サーマルマネキンを用いた空調服の性能検証」
田辺研究室（早稲田大学） 16：05～16：25（20分）
- 発表⑤ 「人体部位別の顕熱及び潜熱損失特性と温熱快適性に関する研究」
水谷研究室修士2年 伊藤駿（東京工芸大学） 16：25～16：45（20分）
- まとめ 水谷国男先生（再掲） 16：45～16：50（5分）

【申し込み】参加費無料、当日参加可能（ただし配布資料が不足した場合は、事前申込された方を優先させていただきます）。配布資料を希望される方は2月17日（月）までに担当者（東京工芸大学 山本佳嗣：y.yamamoto@arch.t-kougei.ac.jp）まで所属・氏名・参加人数をご連絡下さい。

※ 今後、発表者の都合によりプログラムが若干変更になる可能性があります。



会場 中野キャンパス 1B01 教室